



ウチエの電動昇降トイレ

タスカルHLst

品番：8130

8131（ホット便座）

ご使用のしおり

**最大使用者体重
100kg 以下**

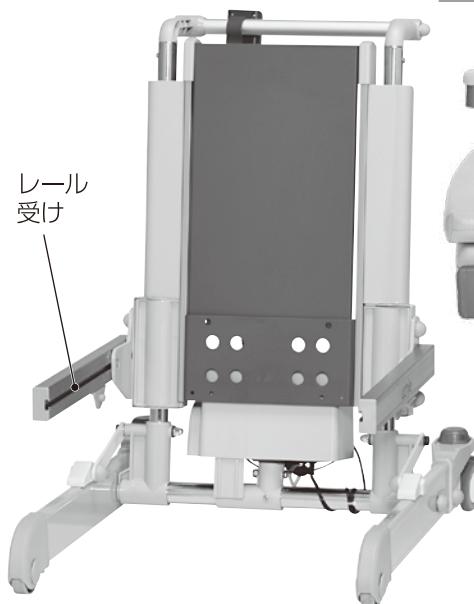
このたびは、弊社の『タスカルHLst』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

各部名称



ベース



トイレパーツ



便座



■付属品

- ・ご使用のしおり（本書）
- ・布製ペーパーホルダー15（芯、カバー）



※トイレットペーパーは付属されていません。

仕様

材質	・本体/アルミ、ステンレス、樹脂 ・便座/(表)EVA、(裏)ABS ・バケツ/ポリプロピレン
重量	約28.5kg(ホット便座:約29.5kg)
バケツ容量	約10ℓ
電源	・昇降/AC100V-72W ・ホット便座/AC100V-35W

サイズ

(cm)

幅	56.5	便座奥行	43
奥行	83.5	肘から便座	25.5
高さ	78.5~114	便座高	29.5~65
座幅(肘~肘)	43.5	背シート奥行	50

トイレパーツの取り付け方

※肘掛けがロックされているか、確認してください。ロックされていない場合は、確実にロックをしてください。(P3 参照)

1.キャスターをロックし、本体が移動しないようにします。(P4 参照)

2.肘掛けをつかんでトイレパーツを持ち上げます。

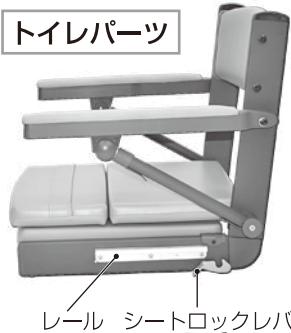
3.トイレパーツのレールを、ベースのレール受けと合わせます。(写真①)

4.トイレパーツをスライドさせ、しっかりと奥まで差し込みます。背もたれを押すと、比較的らくに差し込めます。(写真②) **カチッ**と音がすると、シートロックがかかった状態になります。

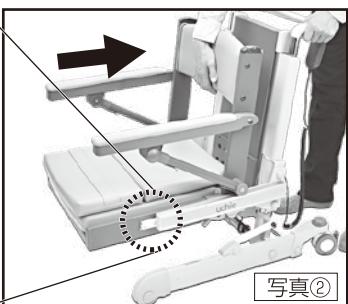
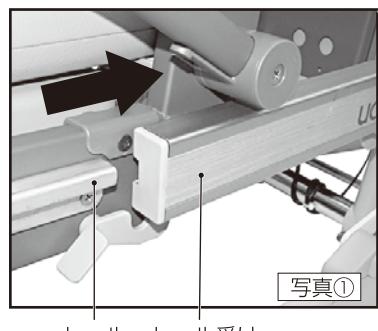
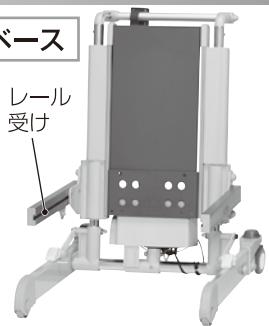
※シートロックは、レール受けuchie ロゴ下の、左右2ヶ所にあります。

(写真③)

トイレパーツ



ベース



△注意

※電源プラグを抜いた状態で取り付けてください。

※昇降スイッチのコードを巻き込まないでください。

※トイレパーツは、必ずカチッと音がし、ロックがされるまで奥に差し込んでください。

差し込んだ後は、左右のシートロックがしっかりととかかり、トイレパーツが抜けないか確認してください。けが、故障の原因となります。

※バケツ内に水や汚物がある場合は、バケツを取ってからトイレパーツを取り付けてください。

トイレパーツの取り外し方

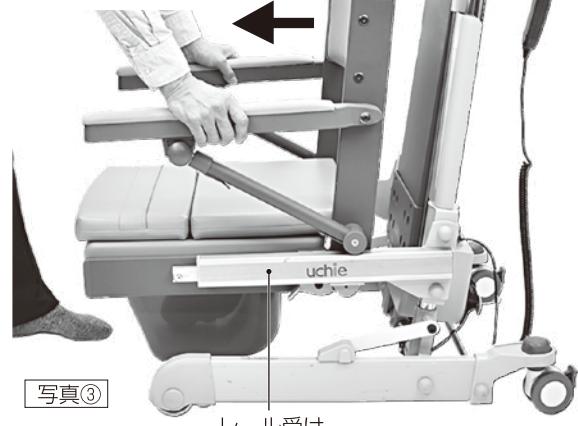
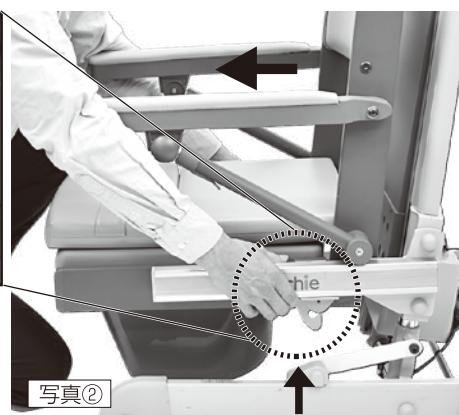
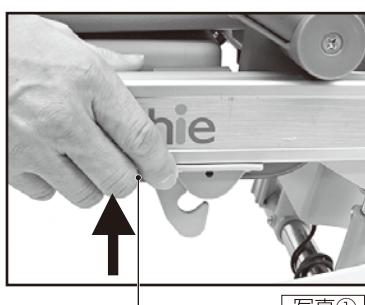
※肘掛けがロックされているか、確認してください。ロックされていない場合は、確実にロックをしてください。(P3 参照)

1.キャスターをロックし、本体が移動しないようにします。(P4 参照)

2.バケツを取り外します。

3.両側のシートロックレバー(写真①)を上に押しながら、トイレパーツを手前に引き、シートロックを解除します。(写真②)

4.肘掛け中ほどを持ち、まっすぐ引いて、ベースのレール受けからトイレパーツを取り外します。(写真③)



△注意

※電源プラグを抜いた状態で行ってください。

※シートロックレバーは、必ず左右2ヶ所を解除してください。ロックを解除せずにトイレパーツを取り外そうとすると、故障の原因となります。

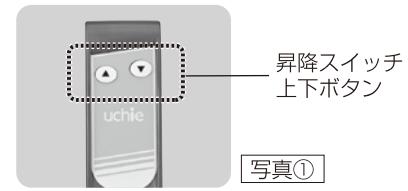
※トイレパーツは重量がありますので、落とさないようにしてください。けが、故障の原因となります。

※バケツ内に水や汚物がある場合は、バケツを取ってからトイレパーツを取り外してください。

座面高さ調節の仕方

・本体付属の昇降スイッチ(写真①)を使用し、便座の高さが29.5~65cmまで、電動無段階調節ができます。

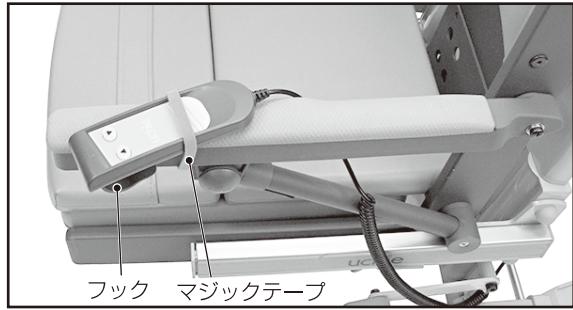
・ボタンを押している間だけ、座面が昇降します。お好みの高さになりましたら、ボタンから手を離してください。



1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。(交流100V)
2. 昇降スイッチの▲印のボタンを押すと、座面が上昇します。
3. 昇降スイッチの▼印のボタンを押すと、座面が下降します。

使用例

- ・肘掛けの上に昇降スイッチを乗せて、市販のマジックテープや両面テープなどで固定すると、使用がしやすくなります。
- ・昇降スイッチの裏にフックがあり、ベッドのサイドレールなどに引っ掛けることができます。



△注意

※延長コードやコンセントの容量を超える使い方はしないでください。発火するおそれがあります。

※交流100V以外では使用しないでください。故障、発火のおそれがあります。

※子供や幼児、操作が理解できないと思われる方に、操作をさせないでください。思わぬけがのおそれがあります。

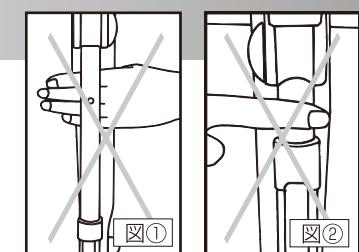
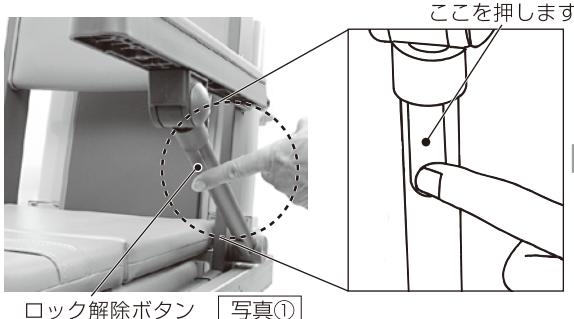
※本体周辺に障害物がないかを確認してから、操作をしてください。けが、破損、故障の原因となります。

※コード(昇降スイッチ、電源コード)を傷つけないでください。断線や破損、感電、故障、火災のおそれがあります。

※ボタンを強く押しすぎないでください。破損のおそれがあります。

肘掛けの取り扱い方

1. 肘掛け補助バーにあるロック解除ボタンを押すと、肘掛けをはね上げることができます。(写真①②)
2. 肘掛けを水平になるまで降ろすとロックされます。



△ 注意

- 肘掛けをはね上げる際、肘掛けと肘掛け補助バーの間に手を挟まないようご注意ください。(図①)
- 肘掛けをはね上げた後は力チップ音がするまで元の位置に戻し、必ずロックしてください。
- 肘掛けを元の位置に戻す際、肘掛け補助バーに指を挟まないようご注意ください。(図②)
- ロック解除ボタンを押さずに手前に引っ張ると割れます。

お座りパッドの開け方、閉め方

1. お座りパッド先端を後方に押します。(写真①)
2. 押し続けると、パッドが2つにおりたたみ、背シートの下に収納されます。(写真②) パッド内側の汚れが背中に当たりません。

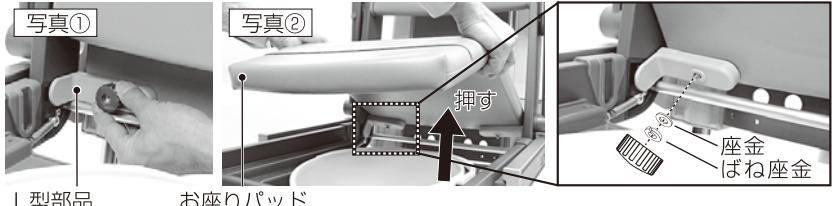
※お座りパッドを閉める時は、ひもを持ち、前方に引き戻してください。(写真③)



お座りパッドの取り外し、取り付け方

1. お座りパッドを開け、バケツ、便座を取り出します。
2. 左右のノブナットをゆるめて外し、ばね座金と座金を取り外します。(写真①)
3. お座りパッドを少し閉め、パッドの根元を内側から押して、外します。(写真②)

※取り付ける際は、L型部品を手前に少し回転させ、お座りパッドのネジを通して、ばね座金と座金を入れて片側ずつノブナットで固定してください。



△ 注意

※取り付ける際は、ノブナットを必ずしっかりと締めてください。

移動について

●車輪を使う

車輪を使い、本体を移動する事ができます。

後輪キャスターは、ロックをかける事ができます。

1.ペダルを下側にするとロックされます。

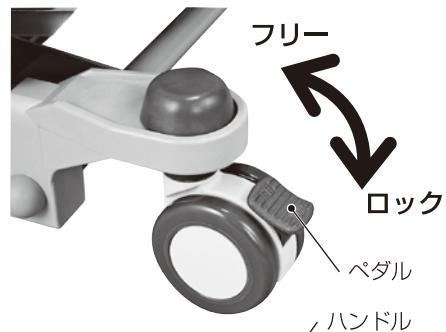
2.ペダルを上側にするとロックが解除され(フリー)、移動することができます。

△注意

※本体を移動させるとき以外は、2ヶ所のキャスターを必ずかけてください。

※キャスターを掛けたまま押さないでください。故障の原因となります。

※コード(昇降スイッチ、電源コード)を踏まないようにしてください。



●持ち運ぶ

トイレパーツとベースに分けて、別々に持ち運んでください。

1.トイレパーツを取り外し(P2 参照)、持ち運ぶ。

2.ベース正面に向かい、脚部の間に立ち、ベースを持ち上げます。利き手で脚部、反対の手でレール受けやハンドルを持ち、ベースを身体に引き寄せるとき、持ち運びがしやすくなります。(写真①)

△注意

※移動する際は、電源プラグがコンセントより抜けていることを確認してください。

※人や物を乗せたまま移動しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。

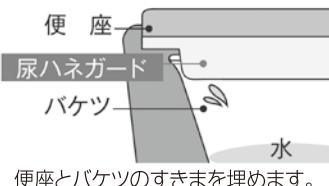
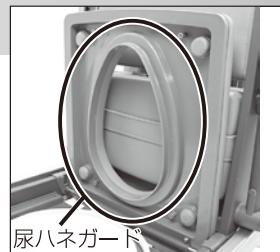
尿ハネガードについて

便座は尿ハネガード付きです。尿飛び、尿ハネを防ぎます。

△注意

※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる可能性があります。

※ホット便座には付いていません。

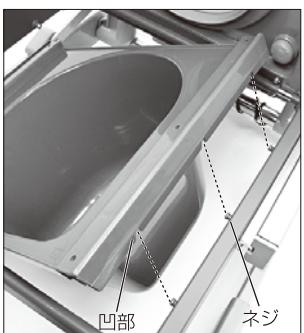


二重バケツの取り扱い方

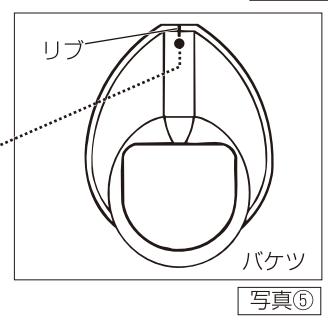
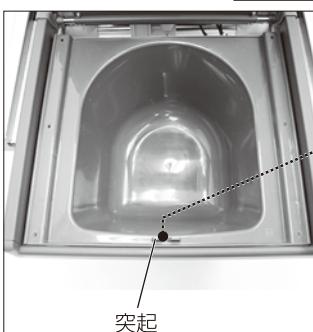
●取り外し方と取り付け方

1.お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し(写真①)、二重バケツを真上に取り外してください。(写真②)

2.二重バケツを取り付ける際は、二重バケツの「前シール」が貼られた面を前にして(写真②)、二重バケツの凹部をねじに合わせて差し込んでください。(写真③)



・バケツは二重バケツの突起(写真④)の間にバケツのリブ(写真⑤)が入るように、バケツを設置してください。(写真⑥)



△注意

※二重バケツには前後があります。

「前シール」が貼られた面を前にして取り付けてください。

※二重バケツに、バケツがしっかりと納まっていることを確認してください。

※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。

二重バケツのみで使用しないでください。

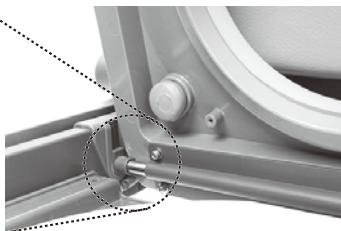
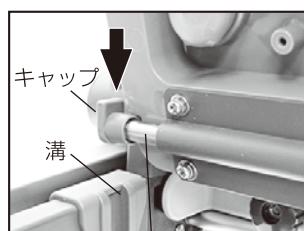
※二重バケツを直射日光に当たたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがをするおそれがあります。

また、退色するおそれがあります。

便座の取り扱い方

お座りパッドを開けて便座を上げ、そのまま持ち上げると便座を取り外すことができます。(写真①)

便座を取り付ける際は、お座りパッドを開けて本体の溝と便座受けパイプキャップの向きを合わせ(丸い方を差し込む)、便座を差し込んで取り付けてください。(写真②)



△ 注意

* 便座を上げる際は、便座受けに下から指を掛けてゆっくり上げてください。(写真③)

便座クッションをつかんで上げると便座クッションが外れるおそれがあります。

* 便座を上げてもすぐ落ちてきてしまう場合は、4ヶ所のネジ(写真④)を少しづつ締めていただくと、ゆっくり上げ下げができます。

(きつく締めすぎると便座の上げ下げができません。)



写真④

便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

便座の裏側から便座クッションを押して取り外してください。

(写真①②)



● 取り付け方

便座クッション裏面の凸部を便座受けの穴に合わせ、上からしっかりと押して取り付けてください。(写真③)



△ 注意

* 頻繁に便座クッションを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。

* 便座クッションを取り外す際は、必ず裏側から便座クッションを押して取り外してください。

* 便座クッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。便座クッションが裂ける場合がございます。

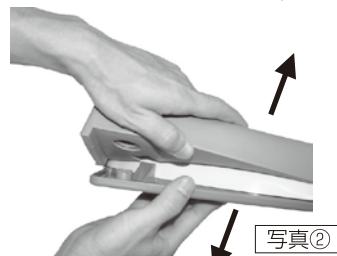
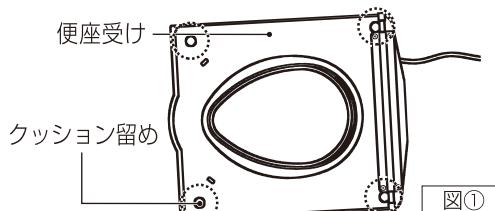
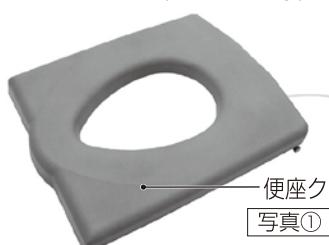
* 便座クッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

ホット便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

1.便座を本体から取り外し、便座クッション(表面)を上向きに置いてください。(写真①)

2.クッション留め(4ヶ所・図①)周辺の便座クッションと便座受けの間に指を入れて、便座クッションを取り外してください。(写真②)



△ 注意

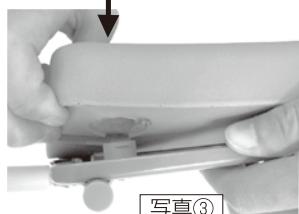
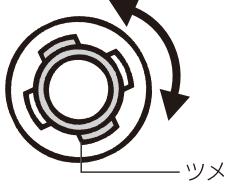
* 便座クッションはゆっくりと取り外してください。破損するおそれがあります。

● 取り付け方

1.クッション留めのツメが90°回転していることを確認し、裏返した便座クッションに便座受けをのせてください。(写真①)

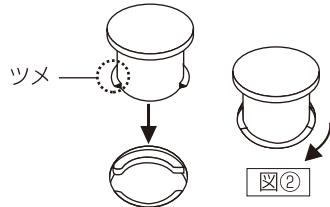
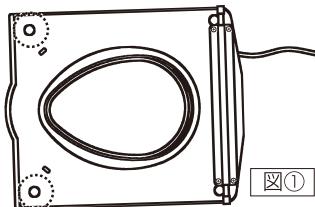
2.便座クッションの取付穴にクッション留めを合わせ、クッション留めを押し込んでください。(4ヶ所・写真②)

便座クッションが入りにくい場合は、便座クッションをめくり、クッション留めと取付穴が合っていることを確認しながら、便座クッションを押し込んでください。(写真③)



●クッション留めが外れた場合

- 裏返した便座クッションにプラスチック部をのせてください。(図①)
- クッション留めのツメとプラスチック部の取付穴の凹部を合わせて差込み、ツメが抜けないようにクッション留めを90°回転させて、押し込んでください。(図②・写真①)



ホット便座について

冬でも暖かなホット便座です。
表面はやわらかなので、長時間
座る方にも最適です。

※ホット便座は後付けができます。

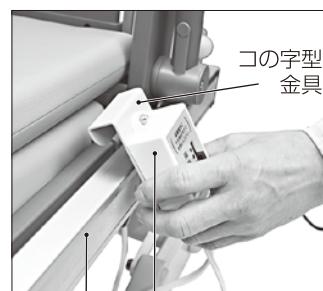
●ホット便座の取り付け時の注意

※ホット便座の取り外し、取り付け方は、
『便座の取り扱い方』(P5)を参照く
ださい。

- ホット便座にはコードがついています。
ポータブルトイレ本体の中(バケツ下)

にコードを垂らしてから便座を取り付けてください。(写真①)コードを外に出したまま便座を取り付けると、便座を下した時に便座と本体にコードが挟まれ故障の原因となります。

- 便座、バケツを取り付けた後(写真②、③)本体の横からコードを出し、スイッチボックスのコの字型金具をレール受けに掛けで使用してください。(写真④)



△注意

※スイッチボックスを必要以上に引っ張らないでください。破損、故障の原因となります。
※コードを便座とお座りパッドではさまないように注意してください。

●ホット便座クッションの洗い方について

ホット便座の便座クッションは取り外して洗え、いつでも清潔にご使用いただけます。

便座、便座受けは水をふくませて固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭いてください。その後、水拭きし、洗剤が残らないように拭き取ってください。

※便座、スイッチボックスは電化製品が含まれていますので、絶対に洗わないでください。故障の原因になります。

※便座、便座受けのお手入れ時には、安全のため、コンセントを外して行ってください。

※ウェットティッシュ(アルコール入)で便座クッションを拭くと色落ちしますのでお止めください。

△注意 ホット便座ご使用時の注意

季節やご使用方法によってホット便座の体感温度が低く感じる事があるかもしれません、
便座クッションを外してのご使用は絶対になさらないでください。固定部品がついていま
すので、ケガをする恐れがあります。

電源を入れても便座はすぐに温まりません。暖房が必要な方は使用しない時も
電源を入れたままにしてください。また、お座りパッドは閉めてください。



ホット便座の取扱説明書

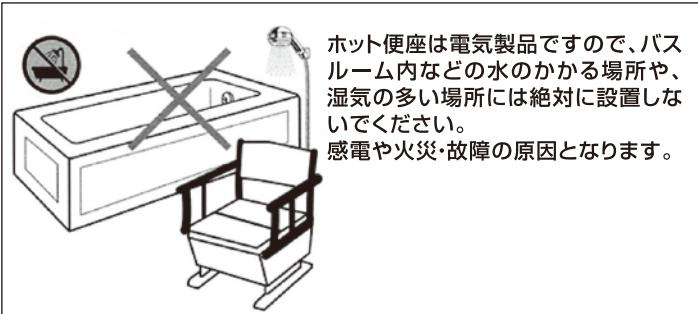
■ご使用方法

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は交流100V(50/60Hz)です。
この時ほこりが付着していないか確認し、根元まで確實に差し込んでください。
 - 電源スイッチを「切」の位置から「弱」または「強」にしてください。
なお、スイッチを入れても便座はすぐに温まりません。温まるまで約60分かかります。
- ※お座りパッドを開いたままですと温まりにくくなります。
※使用しない時は、お座りパッドを閉めてください。

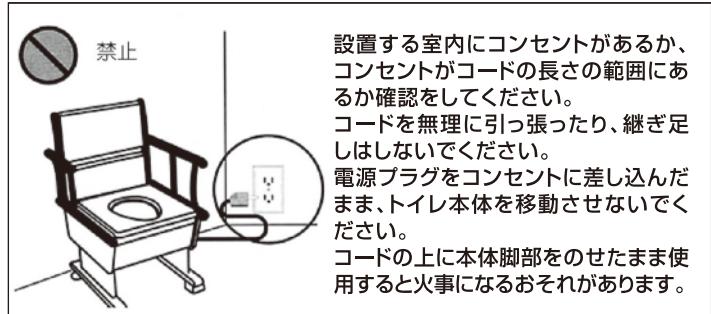
■仕様

定格	AC100V-35W
表面温度	強/34~38°C 弱/31~35°C (室温20°Cの時)
発熱体	ヒーター
スイッチ(温度調節)	強・弱 二段切替式
電源コード	ビニールコード
電源プラグ側	長さ1m

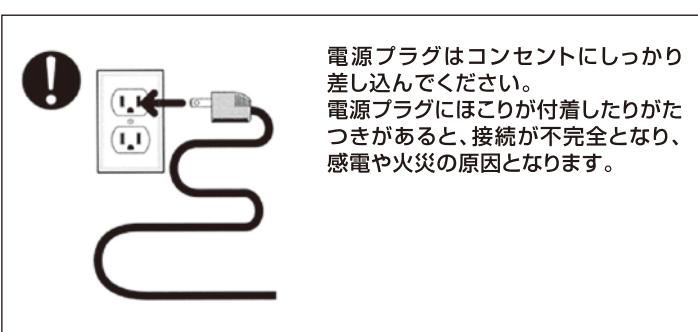
■安全上の注意事項 (安全のため必ずお守りください。)



ホット便座は電気製品ですので、バスルーム内などの水のかかる場所や、湿気の多い場所には絶対に設置しないでください。
感電や火災・故障の原因となります。



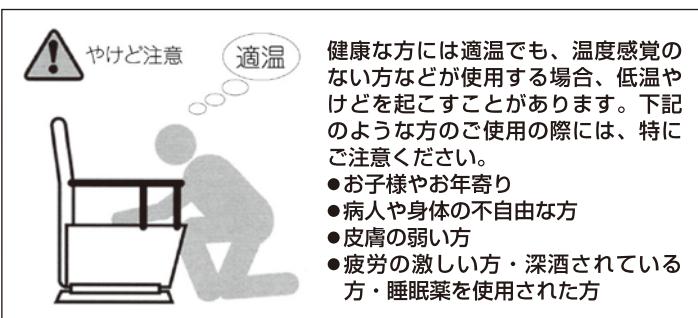
設置する室内にコンセントがあるか、コンセントがコードの長さの範囲にあるか確認をしてください。
コードを無理に引っ張ったり、継ぎ足しはしないでください。
電源プラグをコンセントに差し込んだまま、トイレ本体を移動させないでください。
コードの上に本体脚部をのせたまま使用すると火事になるおそれがあります。



電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。
電源プラグにほこりが付着したりがたつきがあると、接続が不完全となり、感電や火災の原因となります。

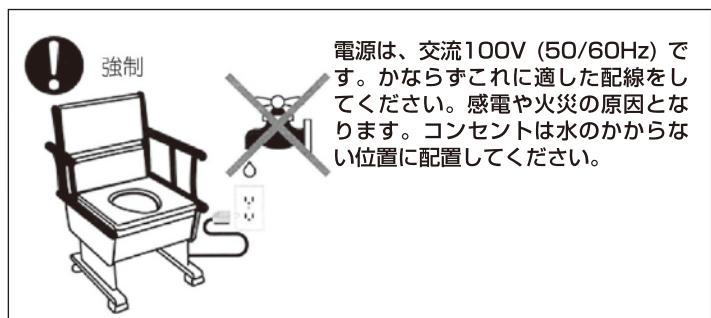


電源プラグを抜く場合は、プラグをもって抜いてください。コードを引っ張って抜くと断線し、感電や漏電、火災の原因となります。
長期間使用しない場合や、雷が発生している場合、お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電や火災の原因となります。



健康な方には適温でも、温度感覚のない方などが使用する場合、低温やけどの起こることがあります。下記のような方のご使用の際には、特にご注意ください。

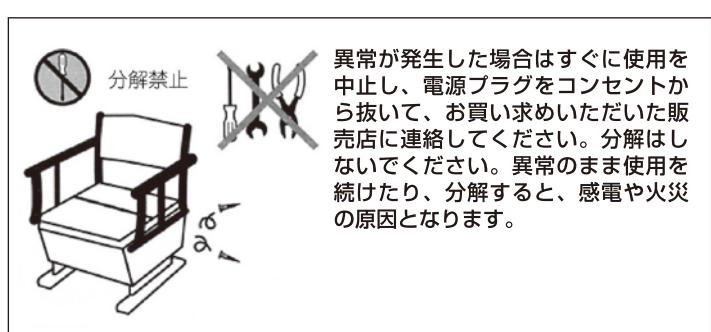
- お子様やお年寄り
- 病人や身体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方・深酒されている方・睡眠薬を使用された方



電源は、交流100V (50/60Hz) です。かならずこれに適した配線をしてください。感電や火災の原因となります。コンセントは水のかからない位置に配置してください。



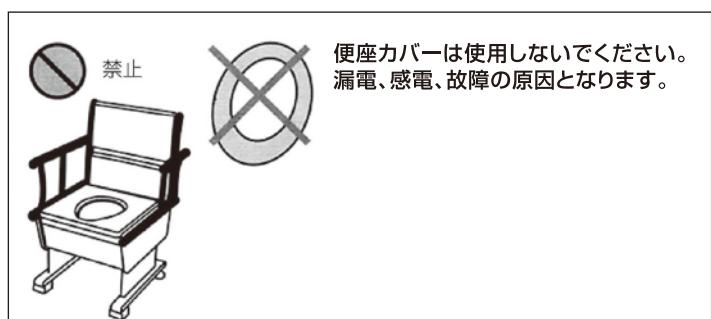
電源スイッチ・電源プラグ・便座に水や小便をかけないでください。
漏電や故障、感電の原因となります。



異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めいただいた販売店に連絡してください。分解はしないでください。異常のまま使用を続けたり、分解すると、感電や火災の原因となります。



お座りパッドや便座の上に乗ったり、重いものを載せないでください。
便座が割れたり、便座内ヒーターが断線するなど、漏電および感電の原因となります。



便座カバーは使用しないでください。
漏電、感電、故障の原因となります。

安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外・雨に濡れるような場所・直射日光のあたる場所・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たる場所・ストーブなど火気の近く・高温多湿、低温な場所・風通しの悪い場所
- 物を載せて運ぶなど、『ポータブルトイレ』以外の用途で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 平坦な場所で使用してください。本体がたついたり、変形、破損するおそれがあります。
- Pタイルやフローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- かたづく場所や段差では車輪を使用しないでください。車輪や本体が破損するおそれがあります。
- 人が座っている状態やものを載せた状態での移動、バケツ内に水や汚物を入れたままでの移動はしないでください。
破損、転倒、けがをするおそれや、水や汚物がこぼれるおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- 各部調整後はねじをしっかりと締めてください。
- 便座の高さ調節は使用者の足が床に付く高さにしてください。使用者が転倒するおそれがあります。
- 下肢の筋力低下により倒れ込むように勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 立ち座りが安定しないなど、使用者の状況によっては介助者付き添いのうえ使用してください。
- ベッドサイドなどで使用する際はポータブルトイレの左右どちらかを、すきまをあけず隣接させて使用してください。
- 踏み台の代わりとして座面の上や肘掛けなどに立たないでください。特に便座穴にあたる中央部に荷重を掛けると、お座りパッドが破損するおそれがあります。
- 肘掛けや背シートを取り外した状態で使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- お座りパッドや便座の前縁部に腰掛けないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 座った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けないでください。また、身体を乗り出さないでください。転倒するおそれがあります。
- シートを昇降する際、足が地面につかない状態は、お客様ご自身が転倒するおそれがあります。
- 本体のすきまに頭、首、腕や足などを入れないでください。操作時に挟まれて、けがをするおそれがあります。
- 昇降中、本体と壁や周辺のものとのすきまに、頭、首、腕や足などが挟まれないようにしてください。
- 昇降スイッチ操作中は、脚部に足をかけないでください。挟まれてけがをするおそれがあります。
- トイレペーツの下に潜り込んだり、頭、首、腕や足などを入れないでください。下降中に挟まれて、けがをするおそれがあります。
- 子供や幼児、操作が理解できないと思われる方に、操作をさせないでください。思わぬけがのおそれがあります。
- 本体周辺に障害物がないかを確認してから、操作をしてください。けが、破損、故障の原因となります。
- 肘掛けや座面の片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けに腰掛けたり、もたれないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けに重いものを引っ掛けないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背シートをななめや他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で肘掛けの内外から荷重を掛けないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で背もたれに過度な荷重を掛けないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指などにはさまないように注意してください。
- 肘掛けをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ず肘掛けをロックしてください。ロックされていないと不意に肘掛けがはね上がり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。ロックする際は、指をつめたり、けががないよう注意してください。
- 背シートに腰掛けないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを立ち上がりやつた歩き等のために使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをするおそれがあります。
- 本体を移動させるとき以外は、2ヶ所のキャスターを必ず掛けしてください。
- キャスターを掛けたまま押さないでください。故障の原因となります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。発火するおそれがあります。
- 電源コードが破損する、次の行為はしないでください。
 - ・踏む・重いものを載せる・無理な力で引っ張る・足を引っかける・折り曲げたり束ねる
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 配線器具の定格を超えて、交流100V以外では使用しないでください。故障、発火のおそれがあります。
- 本体に直接水を掛けて洗わないでください。モーターや昇降スイッチに水をかけないでください。感電や誤動作のおそれがあります。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。製品に異常がある場合は使用を中止し、電源プラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。

お手入れ方法

- 水拭きした後、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に浸し、強く絞って拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。
※ご利用の洗剤の使用方法にあわせてください。
- お手入れには、トイレ用洗剤・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤・除菌剤・殺虫剤・クレンザー・クレゾール・アルコール・ウェットティッシュ（アルコール入）・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。
また、ナイロンたわしなどを使ってお手入れをされますと傷みの原因となりますのでおやめください。

商品廃棄方法 各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチエ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合もございます。予めご了承ください。